

『一般社団法人 社会福祉経営全国会議』

管理職養成学校ニュース



2021年11月2日発行 (No.3) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902



第二回講座を開催



10月28日に開催された、第2講座「社会福祉法人の在り方を学ぶ」の様をお伝えします。講師は、養成学校校長でもいらっしゃる佛教大学名誉教授の浜岡先生です。第1講座では、管理職としての自分自身を振りかえり、「在るべき管理職像」を深めましたが、今回は、自分たちが拠って立つ基盤である社会福祉法人そのものについて掘り下げ、権利としての社会福祉法人の在り方を学ぶのがテーマです。



開始前のウォーミングアップ風景

講座内容は、浜岡先生と担当事務局との打合せによって練り上げていきますが、今回は開講前に配布された基本テキストや指定資料の読み込みを通じて、社会福祉法人をめぐる外的・内的環境の変化について一定の理解を求めました。と言いますと、大変厳しい学習のようですが、大丈夫です。受講生が属する3つのゼミでは、講座の合間に ZOOM を活用し、テキストの内容に関して意見交換を行い、また、自法人の現況の語り合いを通じて、社会福祉法人とは何かをそれぞれに深めていきます。オンライン中心の展開となる第1期養成学校ですが、このような状況だからこそ、受講生が主体的につながり、文字通り、ゼミナールらしい自主的な学びが展開されていることを特筆したいと思います。



午前中は、養成学校恒例のプレゼンテーション。テーマは『「わが法人の経営理念」と「地域で果たす役割について」』です。事前準備として「法人創業者、トップ或いはそれに近い方からお話をうかがう」ことをお願いしました。それらは、とすれば、日常に追われてしまう多くの受講生にとって、背筋が伸びる時間であり、自身のエンパワメントにもつながったようです。迎えたプレゼン本番では、法人創設の歴史を聴き取る過程を通じて、「社会福祉法人〇〇の一員である自分」というアイデンティティを新たにすることが窺われました。また、地域で果たす役割については、住民を単なる消費者ではなく「共に手を携える担い手」とする視点をそれぞれに盛り込んでいたことが印象的でした。



午後はいよいよ浜岡先生による特別ゼミナール。社会福祉法人の在り方を落ち着いて考える機会の中々持てるものではありません。養成学校はそういった意味でも貴重な時間となります。今後の在り方を考える際には、当然「来た道」を正しく把握することが不可欠ですが、先立つ自主ゼミでの論議からは、「憲法 89 条」「商品化・市場化」「イコールフットイング」「公益性」というような Keyword を押さえつつも、線としての理解に届いて

ないという気づきが出されていました。

～いわば、篤志家任せであった戦前の福祉供給形態から、福祉構築の国家責任を明らかにした GHQ 覚書を経て、さらに憲法 89 条に規定される「公金支出禁止」に反しない在り方として「公の支配に属する」組織とされる社会福祉法人が誕生した～

字面を追うだけでは抽象的に感じがちです。また、こういった歴史は、一見日常の営みから遠く、とつつきにくくもあります。しかし、浜岡先生からの問いかけに対して受講生が答える対話形式で理解を促進することにより、明確なイメージを持ちやすくなったのではないかと考えます。集団で学ぶダイナミズムによって本質的な理解に近づいていく、学びが深まっていく、これこそ養成学校の本質だとつくづく気づかされます。

そして、ゼミの終盤には、社会福祉法人をめぐる環境の変化にどう向き合うか、対抗軸をどのように構築するか、という浜岡先生からの投げかけに対して、グループワークの形で論議しました。福祉の商品化に対して、私たちは、人々の困難に寄り添いそれらを取り除くこと、つまり生活の質を高めるという専門性が身上であり、それらを周知するための効果的な取り組みもまた重要であること。市場から排除された方々に向き合う先駆性の発揮は、社会福祉法人にとって不可欠ながら、同時に運動によって制度化を迫っていくことの重要性に関しての言及もありました。そのうえで、これらの運動構築に関して、主催者である「社会福祉経営全国会議」が果たしていく役割の大きさも一同で認識し、実り多い 1 日を終えました。

今回の講座が、社会福祉法人の在り方を今後も継続的に学ぶ契機になることを願いつつ、第 2 講座の報告とさせていただきます。



ゼミ「イマジン」
ブレイクアウトルームにて

第 3 講座 11月25日(木)～26日(金)

京都丹後地方に舞台を移した 1 泊研修となります。長丁場の養成学校もいよいよ山場。関係者のみなさま、受講生への支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

テーマ「組織運営を学ぶ」

講師：よさのうみ福祉会理事長 青木一博氏

リフレかやの里管理者 藤原さゆり氏

株式会社シオノ鑄工

プレゼンテーション「組織運営」

